

海洋ごみを減らし豊かな宇和島に

影山海来 野本大稀 竹内仁汰 清水咲希

指導者：安藤翔星

〈課題設定の背景〉

近年、世界中で**海洋ごみによる生き物や環境への影響が問題**として取り上げられるようになった。
また**宇和島市でも海洋ごみを見かける機会が増えた**。この問題を私たちの手で解決できないかと考えた。

〈宇和島市の海洋ごみの調査〉

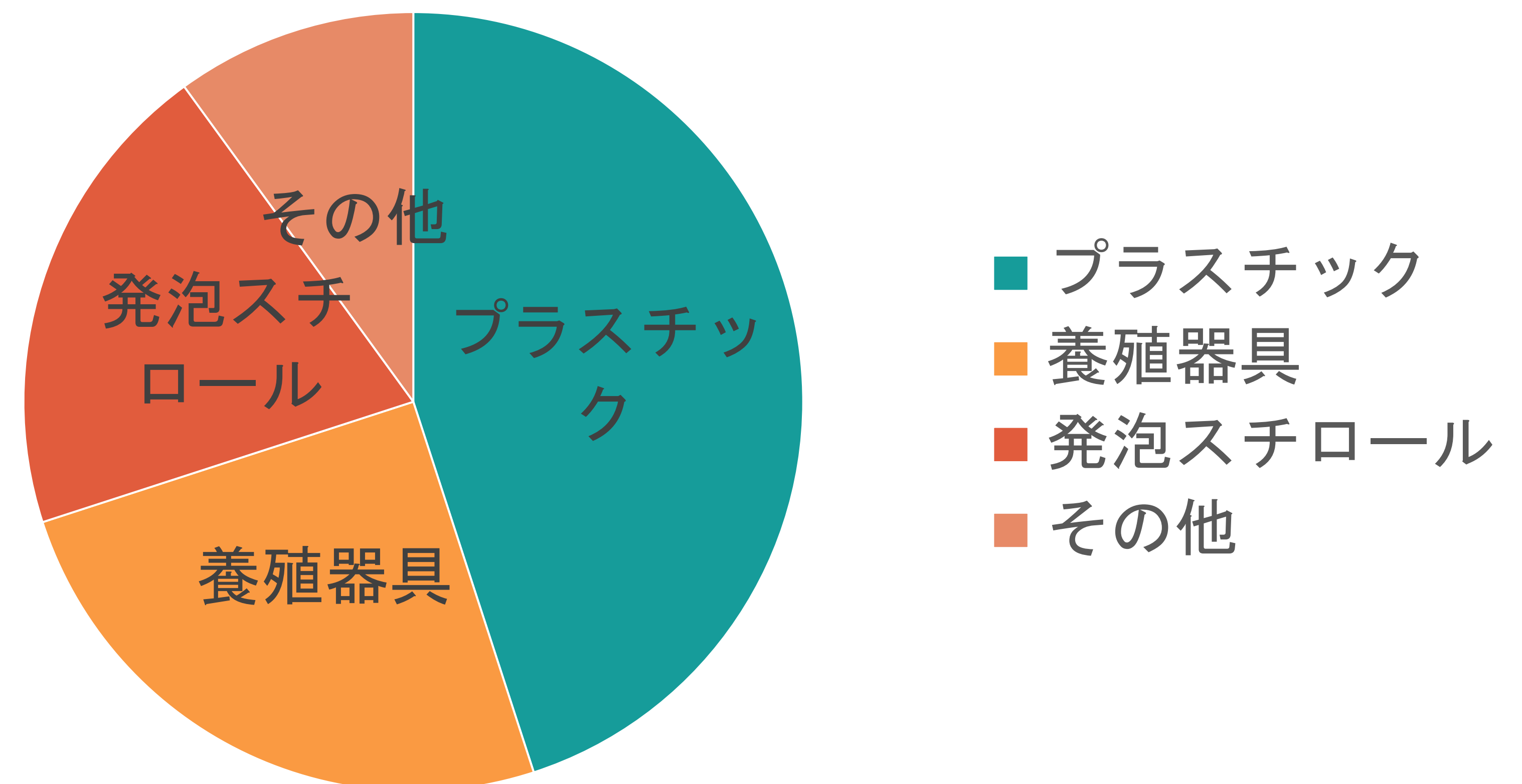
宇和島（石応）の海岸で調査を行い、ごみの状況を確認した。ごみの多くはくぼみの部分に漂着していた。
ごみの種類はグラフにある通りである。**ごみの多くはペットボトルや袋といった、プラスチックごみ**だった。ほかにも養殖で使われたブイや発泡スチロールも多くあった。ごみの中でも生活ごみが多く漂着していたので、一人一人の意識でごみの量が削減できるのではないかと考えた。

〈研究方法〉

1. 宇和島の海洋ごみの調査
2. 海洋ごみを使った商品開発
3. ごみ拾いボランティアの企画、実施

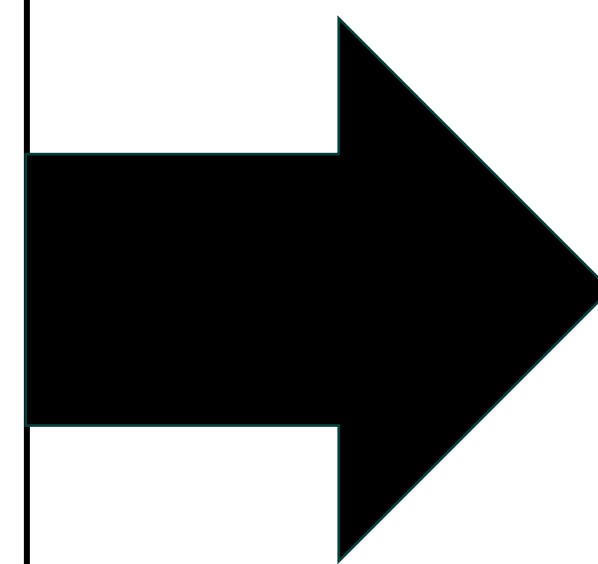


ゴミの分類



〈海洋ごみを使った商品開発〉

- ①キーホルダー
型にシーガラスなどを入れ、レジ
ンで固め作成した。
- ②スノードーム
洗濯のり、水、ラメ、シーガラス
をを容器に入れ作成した。
- ③小物入れ
シーガラスにトップコートを塗っ
た。それをペン立てに接着した。



〈成功点・課題点〉

- ①見栄えもよくきれいに完成した。今後、**アクセサリ等の大人をターゲットにした商品**を作成する。
- ②シーガラスが重く落下してしまう。洗濯
のりの割合を多くするとシーガラスが落下
しにくくなる。
- ③トップコートにより透明感が増し、見栄
えが良くなった。
→商品開発の大変さを実感した。

〈ボランティア活動の企画、実施〉

今後は市役所の西本さんと連絡を取り、**海洋清掃ボラ
ンティアの実施に向けて話し合いを行う予定**である。
活動の日程や場所を決定し、**中学生や地域の人に参加
しやすい企画**を考えていきたい。
また、活動を通して海洋ごみ問題について知ってもら
うためにポスター作製やクイズなどを企画し、**参加者
の理解を深めるため工夫を行う予定**である。
→活動を通して、地域の人たちに海洋ごみへの関心を
高めてもらうことが目標である。

